

# ご用心!

## 特集 住宅の 火災予防

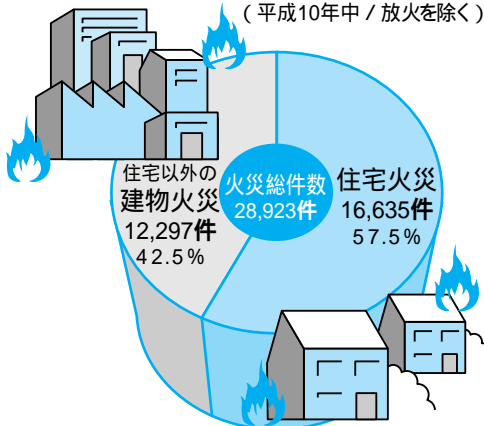
### 建物の火災で最も多い住宅火災

市内でも毎年たくさんの火災が起きています。その大半は建物の火災で、その中でも多くを占めるのが住宅火災です。住宅火災が起ると、財産を失ったり、けがをしたり、時には命にまで危険が及びます。これから空気が乾燥し、火災の起きやすい季節になります。火災を起こさないよう、火の元には十分注意しましょう。

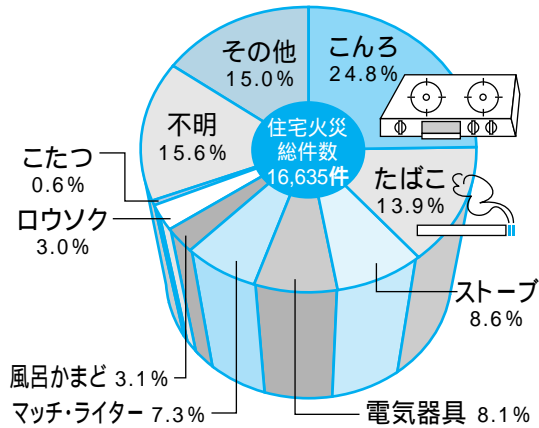
こわい住宅の火災  
財産を失い、  
命にも危険が

建物火災には店舗、ビル、工場などの火災もありますが、全体の半数以上が住宅火災です。平成十年の統計によると、全国の建物火災は約二九、〇〇〇件で、そのうち住宅火災は約一七、〇〇〇件、全体の約五八%を占めます(表 参照)。

[表] 全国の建物火災に占める住宅火災の件数と割合



[表] 全国の住宅火災の発火源別火災の割合



四日市市消防本部管内の平成十一年の建物火災は、三重郡楠町、朝日町、川越町の三町を含めて六五件で、そのうち住宅火災は三三件、五一%を占めます。また、住宅火災では、他の火災より命を失うことも多くなっています。平成十年の全国の建物火災での死者数一、〇三三人のうち、住宅火災で亡くなった人は約八五%の八六五人に上り、建物火災による死者の大半を占めています。

なお、本市消防本部管内では、平成十一年に発生した住宅火災により、四人が亡くなっています。



ちょっとした不注意で  
小さな火が  
あっという間に大火に

住宅火災は、火の不始末や火の元の扱いのちょっとした不注意から起きています。住宅火災の発生源で最も多いのは、こゝろで、原因は天ぷらを揚げている最中にその場を離れることなどです。次いで多いのは、たばこで、原因は寝たばこや灰皿の不始末などです。そのほか、ストーブの近くで洗濯物を乾かすことによるものや、アイロンの消し忘れ、プラグやコンセントのホコリからのショート、風呂かまどの空だきなどによるものが多くなっています(表 参照)。

# 火の元に

これらの住宅火災を防ぐには、火を扱う時に細心の注意を払うことが大切です。火の近くから離れないことや必ず消火を確認することはもちろん、火の近くに燃えやすい物を置かないことや電気器具のプラグやコンセントを掃除することなどを心掛けましょう(下図参照)。

## 家庭で、地域で、みんなで火災を防ごう

市では、毎年春と秋に行う火災予防運動期間を中心に住宅防火を呼びかけています。それぞれの家庭で日ごろから防火を心掛けていただくようお願いいたします。また、火災の初期消火に有効な消火器を備えることはもちろん、防火に効果のある安全な調理器具や暖房器具を使用したリ、ふとんやカーテンに防災品を用いたり、ふとんやカーテンに防災品を用いたりすることを有効



住宅防火安心マークです。住宅防火に効果のある製品には、住宅防火安心マーク(上図)が付いています。

### 1つ注意

消防署の名を利用して消火器などの訪問販売をしようとする、かたわりの被害が発生しています。消防署ではそのような販売は一切行っていませんので十分ご注意ください。

## あなたのまわりにも住宅火災の危険が!!

### 電気器具

プラグなどのほこりの掃除をする

### たばこ

寝たばこ禁止。灰皿に水を入れる。吸いがらをたくさんためない

### ストーブ

洗濯物など燃えやすい物を近くに置かない

### 放火

家の周囲に燃えやすい物を置かない

### こんろ

天ぶらを揚げる時は、その場を離れない

### 風呂かまど

空だきに注意する